

令和6年度能登半島地震の現況 (令和6年8月15日現在)

石川県畜産協会のレポート

- 石川県の能登地方（内灘町以北）の畜産農家で被害が集中しており、能登地方74戸のうち、酪農2戸、肉用牛3戸の廃業を確認
- 農場までの道路が崩壊しており、現在も1農場で交通が遮断されている状況
- 断水が続いている農場（酪農）があり、現在も給水車で水を供給
- 74戸中、43戸で生産物の廃棄、家畜の死亡が発生
- ほぼ全戸で建物被害が発生しているが、修繕出来る建築業者が見つからず、発災直後の損壊した畜舎をそのまま利用して営農継続

令和6年能登半島地震 畜舎等の被害状況

写真撮影にご協力いただいた、被災された畜産農家からは、令和6年8月現在においても、「未だに道路が寸断されており、復旧の見通しが立っていない」ことを、全国の皆さまに知っていただきたいとのメッセージをいただいております。なお、掲載している写真は、発災からおおむね1～6か月前後で撮影したものであり、現在も同状況でございます。



畜舎倒壊の様子

写真提供
公益社団法人石川県畜産協会

令和6年能登半島地震 畜舎等の被害状況



倉庫の破損・倒壊の様子



農場までの道路崩壊

写真提供
公益社団法人石川県畜産協会